

研究データ利活用協議会

RDUF

Research Data Utilization Forum

RDUFが進める 研究データとコミュニティ連携

2021年11月

青木学聡（RDUF企画委員会 委員長）

RDUFのスキーム・特質とは？ 「研究データ」を中心に

会員

多様な学術分野

- ・ 情報学
- ・ 生命科学
- ・ 宇宙・地球科学
- ・ 材料科学
- ・ 人文学
- ・ 社会科学
- ：

多様なステークホルダ

- ・ 研究者
- ・ 図書館職員
- ・ 出版社
- ・ 情報基盤技術者
- ・ 資金配分・政策決定機関
- ：



ドメイン・職種による様々な事例

日本のアカデミア、法制度を反映した課題設定



共通知識、概念を抽出

ガイドライン、レポート、提言の発信



フィードバック

学協会

学術機関

政策・施策

JaLC
&
JST

小委員会
・部会

成果物

社会へ

小委員会と部会

小委員会

- 人文学・社会科学のデータ共有における課題検討
- 研究データへのDOI登録促進

部会

- データ共有・公開制度検討部会
- ジャパンデータリポジトリネットワーク推進部会 (JDARN)

特別講演

研究データが社会に与えるインパクト

鳥海 不二夫 先生(東京大学)

「計算社会科学における社会データの取得とその利用」

荻島 創一 先生(東北大学)

「わが国のゲノム医療における
データ利活用の現状と今後の展望」

Peter Goodhand 先生

(Ontario Institute for Cancer Research)

「Global initiatives in Genomics and Health」

「データの入手・利用・成果公開」は共通の課題
中でも社会的インパクトが大きい分野の事例